

1. FUJI 2. TAKA 3. CHALLENGE



たかおか

発行：まちづくり協議会 編集：まちづくり新聞編集委員会 連絡先：まちづくりセンター (TEL71-3215)

第54回鷹岡地区文化祭を開催

10月18日～19日



開会式で挨拶する後藤敏巳生涯学習推進会会長



見事な三味線を披露した「みずほ民謡会」の皆さん



美しい音色を響かせた「もみじ」の皆さん

交通手段！ この先、あなたはどのようにしますか？

「乗合タクシー」の導入を検討します

人口の高齢化により様々な生活課題が発生しています。その一つが、交通手段の確保。買い物、通院、金融機関への用事などに、マイカーは欠かせませんが、その一方で、高齢者ドライバーが加害者になる事故も頻繁に報道されています。「運転免許証は返納したいけれど、生活が出来なくなる」「家族に何度も頼めない」というのが、多くの皆さんの気持ちだと思います。

鷹岡地区まちづくり協議会は、その様な課題に対して、地域の公共交通としてデマンドタクシー（乗り合いタクシー）の導入を検討しています。今回は、その内容をお伝えします。

デマンドタクシーって？

デマンドタクシーとは、他人と乗り合って利用するタクシーです。事前に登録した人の自宅と地区内停車場との間を運行します。

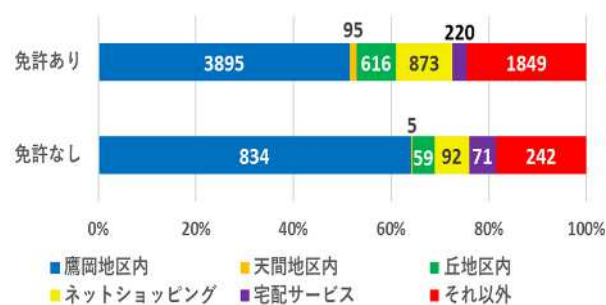
停車場は主にスーパーや病院、金融機関等で、鷹岡地区まちづくり協議会が皆様のご意見により決定します。

利用には事前予約が必要で、決められた時間に運行されます。

運賃は、他地区の例では1乗車 200～600 円に設定されています。鷹岡地区の金額は皆様の意見を反映して決定します。

鷹岡地区民の買い物状況

住民アンケート（昨年度実施）によると、「普段日常生活用品を買い物するお店の場所は？」との問いに、免許なしの人の 64%、免許ありの人の 52%が鷹岡地区で買い物をしています。（右上グラフ参照）



このことは、鷹岡地区内の買い物場所が充実していると考えられます。

実際、鷹岡地区には、JR 身延線の入山瀬駅、複数のスーパー、各種商店、多くの金融機関、郵便局、病院がある程度集約しています。

導入の注意点と今後の予定

デマンドタクシーは運行経費の 2/3 を市が負担し、残りの 1/3 を運賃収入や広告収入や地区負担金で賄うことになります。

鷹岡地区まちづくり協議会と市が協働で運行主体となりますが、導入後、運行収入が運行経費の 1/3 に満たない場合、その不足分は地区負担となります。今後の予定は、令和7年度内に、関係者の意見を基に運行内容を決定し、令和8年度中には実証運行を目指しています。



重要課題を提示し回答を求める

■西富士道路へのインターチェンジ設置について■

恒例の富士市長と地区との直接対話の場である「令和7年度鷹岡地区行政懇談会」が10月14日夜、まちづくりセンターで開かれました。出席者は主催の鷹岡地区まちづくり協議会(鈴木孝治会長)を構成する区長会や生涯学習推進会など各種団体の役員等、50人余が出席しました。開催にあたりまちづくり協議会では構成団体から提出された要望を精査し、地区発展に向けての緊急かつ重要な課題として「西富士道路の鷹岡地区へのインターチェンジ設置について」を取り上げ提示し、回答を得ました。

鷹岡まちづくり新聞では当局回答の概要をお伝えします。

《要望事項》

西富士道路の鷹岡地区へのインターチェンジ設置は富士・富士宮エリアの渋滞緩和、また、物流、観光面においても更なる経済効果をもたらし、沿線都市圏に重要な役割を果たすと期待できるため、かねてから当地区「行政懇談会」の要望事項として提出しており、令和5年度の回答は、「市としては、県道一色久沢線との交差箇所付近が最適と考えており、地元・富士商工会議所・富士市が一体となって、引き続き、国に働きかけていく。」とのことでした。

富士市として国への要望活動の中で、これまでの具体的進展、現在までの進捗状況と今後の見通し、今後の具体的な計画、そしてハーフインターチェンジではなくフルインターチェンジでの検討余地について回答を求めました。



開会で挨拶を述べる鈴木会長

《回答》

市当局から現在の状況説明によると、市当局は事業化の実現を図るため、国への要望活動を継続的に実施したが、国は現在施工中の国道139号富士改良、国道1号富士立体の計画など優先的に進める事業があるため、国の直轄での早期着手は困難との見解を示しました。

しかしながら、新インターチェンジの設置は様々な

効果をもたらすことから、早期実現が必要と認識しており、昨年度、事業化に向け、本市が現況測量と概略設計を含めた予備検討事業を実施し、予備検討で設置箇所は新東名高速道路と交差する箇所が最適で、接触する道路は県道一色久沢線が有効であるとの結果となりました。

新インターチェンジ設置に要する事業費は予備検討の結果、昨今の材料費、人件費等の高騰の影響により、大規模なものになると試算され、現在富士駅北口周辺再設備、新富士駅南地区土地区画整理事業、新病院建設などの大規模事業を進めている中で、市の主体事業として直ちに事業化することは困難との見解を示されましたが、国に対し1年でも早いインターチェンジ設置を要望するとの意向を示されました。

また、インターチェンジの形式について、現在の計画では富士市街地に向かうための車両の入口と市街地からの出口の2か所を設置するハーフインターチェンジの計画は用地買収の必要がなく早期実現ができるとの見解を示されました。



小長井市長を招いての行政懇談会

以上要望内容と回答は文書化を図っており、まちづくりセンターで閲覧ができます。

鷹岡地区の企業と防災協定を締結～

頼れる企業に広がる安心

鷹岡地区まちづくり協議会・防災部会は、地域としての備えを進めています。

今回、災害発生時、地区内の7企業が鷹岡地区と物資の提供や施設の利用について協定を結んでくださいました。感謝申し上げます。

①企業名(敬称略) ②住所 ③協定した物資や事業



①「湯屋プランニング株式会社 鷹の湯」

②富士市久沢 788-1

③施設を開放した入浴支援、休憩スペースの利用、駐車場の利用など



①「松菱製紙株式会社」

②富士市久沢 145

③トイレットペーパーなど



①「静岡県中央自動車学校」

②富士市入山瀬4丁目1番7号

③住民等が一時的な避難に使用する場所の提供など



①「特種東海エコロジー株式会社」

②富士市厚原 167-1

③トイレットペーパーなど



①「株式会社コーチョー」

②富士市厚原字川窪 295

③ペットトイレタリー用品(シート、ネコ砂、ウェットティッシュ、紙おむつ) など



①「影島石油」

②富士市入山瀬 2丁目2-14

③ガソリン、軽油、灯油など



①「東浩石油」

②富士市久沢 433-1

③ガソリン、軽油、灯油など

シリーズ 直撃インタビュー VOL.37

シリーズ第37弾の今回は、今年度、鷹岡地区生涯学習推進会会長に就任した後藤 敏巳(ごとう としみ)さんに登場を願い、Q&A方式で就任の感想やこれからの取り組みなどについて、お聞きしました。

生涯学習推進会 会長 後藤 敏巳さん

Q…まずは、会長に就任しての所感をお聞かせください。

A…前会長(渡邊敏氏)から、ご指名により運命的な巡り合わせのような感じがしておりますが、前会長が12年間の長期に渡り会長職に貢献されており、多大な感謝と責任の重大性や使命感をひしひしと感じております。



後藤敏巳会長

Q…生涯学習推進会に関わるようになったきっかけや、これまでの取り組みを教えてください。

A…子供会会長をきっかけに富士市施設審議委員そして、生涯学習推進会 青少年育成部副部長から急遽部長に就任しました。

望月新聞店(故)望月博征さんの桜まつりや文化祭の舞台や看板および、体育祭の聖火台などまで自費で制作し、鷹岡地区への強い思い入れに感銘、また(故)遠藤晃さんが自分の時間を全て鷹岡地区へ費やし、私利私欲のかけらも無く、謙虚で厳かに全力で常に貢献して来た姿勢、諸先輩方の背中に憧れ、慕ってきました。

だから地元のために少しでもお手伝いできる人生と諸先輩方に感謝の気持ちを送りたい。

Q…生涯学習推進会の課題、そして会長として今後、取り組んでいきたいことは？

A…地域コミュニティとして、まちづくり協議会鈴木会長を主体として体制の一本化を進めており、指定管理制度を利用した、まちづくりセンター運営、改革の活動が大きな課題です。

そうした中 現在まちづくり協議会では、デマンドタクシーの運営を進めており、生涯学習推進会として全面的な支援と協力を注ぎ込む予定であります。

又 鷹岡中学校グラウンドにある体育祭備品用倉庫を整理し、今後防災用備品倉庫として活用すべき準備しております。

Q…最後に、地域の皆さんに向けてメッセージをお願いします。

A…鷹岡地区生涯学習推進会は、鷹岡住民の老若男女の誰もが思いやりの心を持ち、助け合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指し、多くの皆様が積極的にまちづくりに参加いただける環境を作る事にご理解とご協力をお願いします。

Q…プロフィールをお願いします。

A…1956年10月生まれ 幼少から鷹岡町民として入山瀬西に在住 長年勤務した会社を定年退職し、第二の人生として医療機関に再就職し、毎日忙しく仕事に従事しております。

趣味の園芸と日曜大工に明け暮れ、休息する暇がございません。

クリスマスイベント開催案内(無料公演)

2025 12月20日(土)13:00 開場 13:30 開演

場所:鷹岡まちづくりセンターホール

- ・キャンドルサービス
- ・クリスマスコンサート
- ・ミニミュージカル「アナと雪の女王」



メンバー募集中

こどもミュージカルグループ

Sound★Anne

お問合せ ☎0545-72-1713

町の話

第 72 回 鷹岡殉国者慰霊祭が厳かに開催

令和 7 年 10 月 11 日、入山瀬神社境内にて「第 72 回鷹岡殉国者慰霊祭」が開催され、約 75 名が参列しました。式典は午前 10 時に開式され、開式の辞、国歌斉唱・国旗掲揚、黙とうに続き、奉賛会理事長・植田徹氏の挨拶、慰霊の辞（小長井義正市長、衆議院議員・細野豪志氏、遺族会会長・本多光雄氏、遺族代表・上杉玲子氏）が述べられました。



植田徹氏

佐野聡子氏による慰霊の歌の後、参列者による献花が行われ、閉式の辞をもって式は終了。途中小



佐野聡子さん

雨もありましたが、厳かな雰囲気の中、滞りなく進行しました。この慰霊は、旧鷹岡町出身の戦没者 348 柱を悼み、1955 年から毎年続けられている地域の大切な行事です。

第 54 回鷹岡地区文化祭、地域の賑わいと笑顔に包まれる

令和 7 年 10 月 18 日（土）・19 日（日）、鷹岡まちづくりセンターにて「第 54 回鷹岡地区文化祭」が盛大に開催されました。主催は鷹岡地区生涯学習推進会。展示会場では、地域住民による絵画、書道、手芸など多彩な作品が並び、来場者の目を楽しませました。1 階ホールでは音楽演奏やダンスなどの発表が行われ、観客からは大きな拍手が送られていました。屋外の駐車場スペースには、地域団体による出店やキッチンカーが並び、楽しむ人々で賑わいました。秋晴れのもと、世代を超えた交流が生まれ、地域の絆を深める 2 日間となりました。



たかおかこども園の鼓隊演奏

「サロンまつかぜ」富士サファリパークへお出かけ！

～高齢者に笑顔と感動を届けるバスツアー～

10 月 23 日、鷹岡地区の「ふれあい・いきいきサロン」のひとつ「サロンまつかぜ」が、富士サファリパークと富士山こどもの国への日帰りバスツアーを実施しました。富士サファリパークの「らくらくおでかけプラン」を活用し、バスに乗ったまま動物を間近に見学で



富士サファリパーク

きるのが特徴です。

「ふれあい・いきいきサロン」は、高齢者や障害のある方々が地域のボランティアとともに、気軽に楽しく過ごせる交流の場です。お茶やおしゃべり、健康体操などを通じて、心身の健康づくりや社会参加を促しています。当日は快晴に恵まれ、富士山には初雪が積もる絶景も楽しめました。平均年齢 83 歳の参加者たちは、クマやライオン、キリンなどを間近に見て大興奮。「テレビでしか見たことがない動物をこんなに近くで見られて感激」と笑顔があふれていました。午前 9 時半に出発し、午後 2 時半に帰着する短時間の旅でしたが、「とても楽しかった」との声が多く聞かれました。外出が難しい高齢者にとって、心身のリフレッシュと交流の場となる貴重な機会となりました。

インフォメーション

【鷹岡福祉推進会によるまゆ玉づくり】

日にち 令和 8 年 1 月 9 日（金）

時 間 10:00～11:30

場 所 鷹岡まちづくりセンター

対 象 未就園児と保護者

まゆ玉かざりとは…

色つきの小さな団子を木の枝に刺し、作物の豊かな実りを表現した飾りで、昔から神棚などに飾り豊作を祈ったそうです。



《編集後記》

猛暑だった今年を振り返ると、まず、編集にご尽力いただいた小林知子様があのに旅立たれました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、編集委員の多くが、病気等でダウンした年でもあります。新聞が続いて発行できたのは、残された編集委員の奮闘と感謝しております。来年は皆様方が健康で良い年を迎えられるようお祈りします。（〇、〇）